

福祉

しろ 白 水 春 夫 議員が問う

発達性読み書き障がいの対策は
必要であれば、通級指導を開始

質問を終えて

町は、読み書きに困難さに対応した個別の合理的配慮を提供されていることに安心いたしました。

映像はこちら



白水 発達性読み書き障害は学習障害の一つで、脳機能の発達に問題があるとされている。文字の読み書きだけに困難を示す障害で、周りから気づかれにくい面がある。

各小中学校において把握と検査などを行っているか。

学校教育課長 学校では、日常の学習や生活の様子を記録すること、サポートヒントシートの実態把握を参考にした、指導支援を進めている。

白水 発達性読み書き障害の子ども達や、その疑いのある子ども達を含めて、どのような対応・対策をしているか。

学校教育課長 保護者・本人とも十分に話し合う。必要と判断されれば、通級の指導を開始する。通常の学級の担任は、読み書きの困難さに対応した、個別の合理的配慮を提供していく。

白水 周りの子どもと違うと感じた保護者に対して、安心してもらうためには、子ども

の保護者と連携が重要だと思うが、どのようにしているか。

学校教育課長 通級指導教室で、どのように指導が行われているか、ご家庭で協力してほしいことなども含めて、話し合いが行われる。節目ごとに、保護者面談なども計画されており、連携を図っている。

白水 発達性読み書き障害への理解を促すべきと考えるが、町としての見解を伺う。



他人に「怠けている」などと誤解されることもある



※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。

教育長 発達障害の子どもの理解と支援については、特別支援教育の研修会、特に特別支援コーディネーター研修会、それから特別支援学級教員の研修会、授業研究会、教育支援委員会や教育委員会が発行する特別支援教育通信等の情報提供により、広く周知している。

環境

お ざ わ か ず 男 澤 一 夫 議員が問う

岳城登山道のゴミ投棄対策は
毎週水曜日に展望台まで巡回

質問を終えて

岳城登山道を特化した対策より車からのポイ捨てなど悪質な不法投棄が後を絶たず、町全体としてのゴミ投棄防止対策が必要である。

映像はこちら



男澤 岳城への年間登山者数について問う。

公園緑地課長 通常の個人で登山される方の人数は、把握していない。皿山の公衆トイレの水道使用量や、歴史資料館前の駐車場利用状況から推察すると、年間を通じかなりの登山者がいる。

男澤 ゴミ投棄の有無について定期的に現地の確認はしているか。

公園緑地課長 町有林の管理作業員があり、毎週水曜日に展望台までの登山道を巡回している。これまで、目立ったゴミの投棄は、ほぼ確認されていない。

男澤 皿山公園駐車場・登山道の中間部・展望台にゴミの持ち帰りを周知する看板を設置してはどうか。

公園緑地課長 小動物園の広場に立て看板を設置、イベント広場の上側登山道の左右に不法投棄禁止の看板を設置し

ている。現状では概ね守られているので、現時点ではこれ以上の看板の設置は考えていない。

男澤 すでに捨てられているゴミへの対策を問う。

公園緑地課長 当然、巡回時にゴミを見つけたら、回収はしている。作業員の話によると定期的に登山されている方で下山時に掃除しながら降りて来る方がいる。状況が変われば、その時に考えていきたい。

男澤 須恵町も10月3日登山の日に、岳城へのゴミ投棄防止の啓発登山を計画してはどうか。

地域振興課長 岳城登山道にゴミが投棄されている連絡は、ここ数年入っていない。

それよりも町内での車からの道路へのゴミのポイ捨てや、須恵川河川敷、高速道路カルバート、車両が通行できる林道への悪質な不法投棄が後を絶たない。町全体のゴミ投棄防



展望台パノラマ看板



不法投棄禁止看板



ゴミの持ち帰りを促す看板

※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。

止対策が必要であり、車両が通行出来ない岳城登山道だけを特化した啓発は考えていない。